

健康のひろば

院内報

2008.

8

月号

ホームページ <http://www.kakegawa-hsp.jp/>

愛365日 掛川市立総合病院



C・O・N・T・E・N・T・S

② リハビリテーション室

- ③ リハビリテーション室
骨・関節系専門理学療法士の
認定を受けました
母親教室
静岡県高校野球メディカルサポート
人事異動
病院の概況
編集後記

④ ナースキャップ

木綿の布を ありがとうございます

城西地区社会福祉協議会の皆様からたくさんの木綿の布を寄付していただきました。看護部では、早速患者様の排泄時の清拭の際に使用させていただきます。御厚情ありがとうございます。当院では、木綿の布の寄付を常時受けつけております。寄付できる木綿の布がある場合は、当院看護部（電話22-6211）まで御連絡ください（カットした木綿の布を御持参いただければ幸いです）。

ボランティア 募集中!

内容 病院を訪れる方の御案内、看護用材料作り **対象** 経験等不問
条件 健康で明るい方、人のお世話の好きな方、人とのコミュニケーションがとれる方、ボランティアを続けられる方

詳しくは、経営企画課 総務係 ☎0537-22-6211 まで

リハビリテーション室



私たちリハビリテーションスタッフは、「愛365日」をモットーに明るく楽しい雰囲気を中心掛け、患者様の社会復帰にできる限りのお手伝いをさせていただきます。患者様のご要望、ご期待に応えられますよう、日々努力、精進を重ねてまいります。

作業療法



作業療法室



手の回復訓練

作業療法とは、「こころ」と「からだ」のリハビリテーションです。基本能力(運動機能・精神機能)、応用能力(食事やトイレ動作、畳からの立ち上がりなど生活で行われる活動)、社会生活適応能力(地域活動への参加・就労・就学の準備)、環境の調整、社会資源や諸制度の活用を促します。



車椅子の採寸



畳からの立ち上がり

理学療法



呼吸介助



水治療室

理学療法とは、病気で日常生活に支障をきたした方に対して、起きる、座る、立つ、歩くなどといった基本的な動作ができるようになることを目的に行われます。その方の症状に合わせて、関節可動域訓練(手足の関節の動きを良くする運動)や筋力トレーニングなどの運動療法を行います。



歩行訓練



足底板
「足底板」療法を行っています。足を操作することにより、膝・腰などの痛みをとることに大変効果をあげています。



母親教室

第2回目の母親教室で当院にて出産される妊婦様へ尿漏れ、腰痛のお話をさせていただいています。

妊娠・産後・加齢に伴う女性の体の問題について実技を交え行っています。(理学療法士が母親教室への介入は珍しいです。是非御利用して下さい。)

言語聴覚療法



脳血管障害や神経疾患、口腔内の手術などのために食べ物が嚙みにくい、のどに送り込みにくい、飲み込めない、飲み込んでもむせるなどの状態にある患者様を中心に、主にベッドサイドで摂食機能療法(嚥下訓練)を行っています。



静岡県高校野球メディカルサポート

当院のスタッフが静岡県高校野球メディカルサポートに参加しています。現在は夏の県予選

のときに球場に駐在し、怪我や熱中症の応急処置・試合後の投手のクーリングダウン等を行っています。また、監督や選手が障害予防に対する関心が高まるように啓蒙活動も行っています。



骨・関節系専門理学療法士の認定を受けました

当院、岡部敏幸リハビリテーション室副室長が骨・関節系専門理学療法士の認定を受けました。骨・関節系専門理学療法士とは、骨・関節系疾患の理学療法において特に高度な知識と技術を有するスペシャリストである日本理学療法士協会が認定した者に与えられる称号です。県内では4名しか認定されておりません。当院の専門理学療法士の活躍は、今後より一層高まっていくことが予想されます。

病院の概況

(6月)

区分	人数 [名]	前月対比 [名]	
患者数	外来	延べ 18,754 1日平均 893	255 -32
	入院	延べ 11,180 1日平均 373	-310 2
赤ちゃん誕生	男子	20	7
	女子	21	2
	計	41	9
人間ドック受診	1泊2日コース	7	-4
	日帰りコース	延べ 675 1日平均 32	59 1
	脳ドック計	9	5
		691	60

◆医師 (7/1付) 採用職員

◆医師 (7/1付) 小原 智洋 耳鼻咽喉科 医員

◆医師 (7/1付) 菅原 崇 泌尿器科 医員

◆医師 (7/1付) 小林 充 麻酔科 医員

◆非常勤検査技師 (6/16付) 高橋 沙織 検査室

◆非常勤看護士 (6/23付) 原 英子 病棟5階東

◆非常勤看護士 (7/1付) 貝 鳴 恵 病棟2階西

◆医師 (6/30付) 奥田 洋史 整形外科 医員

◆医師 (6/30付) 泉 智沙子 耳鼻咽喉科 医員

◆医師 (6/30付) 加藤 卓 泌尿器科 医員

◆医師 (6/30付) 松井 弦一郎 麻酔科 医員

◆看護師 (6/30付) 向川 皆未 病棟3階

◆退職職員

■ありがとうございます

編集後記

8月15日にバスケットボールクリニックとエキシビジョンゲームを開催します。対象は小学生から大人120人。場所はさんりーなで午後四時から六時がクリニック。六時半から九時半がエキシビジョンゲーム(詳細は南部社会教育係TEL72の1121)。海外で活躍中の選手等に依頼して掛川に集まってもらい、実施します。機会があれば地域貢献事業をもっと活発に行いたいと思っています。会場で皆さんにお会いできたら嬉しいです。◎

看護部
だより

ナースキャッツ

No.15

固定チームナーシングに おけるリーダーの役割



自分の課題を見つけれられたよ
うに思います。

私は、研修担当者ですが、今回の講義で一番印象に残っていることは、受け持ち患者さんに看護を継続することが最も重要であるということでした。『自分が勤務していない時でも、看護が継続されているなら、チームに支えられているということである。』という先生の言葉は、これこそが固定チームナーシングだ！と心に響いてきました。

研修者から、経験を振り返るよい機会だった、情報を共有してがんばりたい、など前向きな意見がありました。中堅看護師は大きな力を持っています。講演会後のますますの活躍を期待します。また受け持ち看護師は、ま

ず、受け持ち患者さんに挨拶することから始まる。受け持ち看護師は情報管理の責任者である。患者さんの看護問題の解決に向けてあらゆる手段を用いて成果を出すこと。患者さん、家族の代弁者であること。など多くのことを再認識した研修会でした。⑧



初心者 リフレクシブ研修

大切な仲間

5東 小玉香里

今回、新人看護師が集まり、ならこの里へ行きました。日々慣れない業務に緊張し、楽しいことよりも、大変さを感じます。そんな中、久しぶりに同期の仲間へ会い、パーベキューをしたり、語り合うことができました。先輩と語り合う機会もあり、私たちは多くの方々に支えられていると感じました。覚えることも多く、一人前になるまでには、まだまだ遠い道のりですが、同期の仲間と励ましあいながら共に頑張ろうと思える、とてもよい時間を過ごすことができました。



7月7日 ならこの里パーベキュー

輝きナース

パート 1



外傷看護の研修参加

救急外来 赤堀 和子

昨年の4月から救急外来勤務となりハラハラドキドキの毎日を送っています。昨年はJPTEC、ICLSの講習を受け、実践に生かせる大変有意義な学習をしました。しかし、救急外来は様々な患者様を受診される部署で私は日々の業務に追われ、根拠に基付いた看護をするため勉強をする必要性を感じていました。その時、声を掛けていただいたのが防ぎうる死をなくすための救急初期対応、外傷看護の研修でした。大変楽しい講義でかつ刺激を受け学ぶものがたくさんありました。今後の救急看護業務に反映させたいと思います。